

＜第3表＞ 昭和48年度冬作関係除草剤実用化判定表

| 区 分     | 実 | 実，継      | 継 続                  | 継 続 ？ | 中 止 |
|---------|---|----------|----------------------|-------|-----|
| 1) 麦 類  |   | トリブニール水和 |                      |       |     |
| 2) いぐさ  |   |          | S-28粒<br>S-28・DBN粒   |       |     |
| 3) 水稻刈取 |   | デゾレートA 粉 | SC-70水溶<br>M&B-9057液 |       |     |

＜第4表＞ 昭和48年度冬作関係除草剤実用化薬剤使用基準

| 区 分         | 薬 剤 名    | 判 定 | 処 理 法   | 処 理 時 期                                | 使 用 量             | 適 用 土 壌                | 適 用 地 帯                                    | 使用上の注意             |
|-------------|----------|-----|---------|----------------------------------------|-------------------|------------------------|--------------------------------------------|--------------------|
| 1) 麦 類      | トリブニール水和 | 実，継 | 茎葉兼土壌処理 | 播種直後～雑草（スズメノテッポウ）2～3葉期まで（小麦，ビール麦3葉期まで） | （成分）<br>20～30 g/a | 火山灰土壌<br>沖積土壌<br>壤土～埴土 | 小麦；寒冷地以西（畑作，水田裏作）<br>ビール麦；温暖地西部以西（畑作，水田裏作） | 処理時期を厳守            |
| 3) 水稻<br>刈跡 | デゾレートA   | 実，継 | 茎葉処理    | 刈取後10日以内，マツバイ枯葉前                       | 成分<br>900g/a      | 全 土 壌                  | 寒冷地以西                                      | 1.落水散布<br>2.連用をさける |

## 昭和47、48年度牧野草地関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

牧野草地関係除草剤については，主要雑草であるワラビに対する効果試験成績検討を，昭和47年に行なって以後，検討会は開かれていなかったため，昭和47，48両年度に実施した試験についての検討会を49年9月2日に日本植物調節剤研究協会事務局で開催した。

供試薬剤および試験場所ならびに実施年度は

第1表のとおりである。

北海道地区においては，現地試験の行なわれたものもあり，また中間の成績検討もなされたが，今回の全般的な判定結果は第2表のとおりである。

以下，各除草剤についての成績の概要を説明することにする。

＜第1表＞ 供試除草剤・試験実施場所

| 除 草 剤      | 試験場所<br>対象雑草     | 草<br>地<br>試 | 北海道<br>農 試 | 東北<br>農 試 | 北 海 道 立  |          |          |          |          |          | 青森<br>畜試 | 宮崎<br>農試 | 崎<br>農試 | 鹿児島<br>畜 試 |
|------------|------------------|-------------|------------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|------------|
|            |                  |             |            |           | 中央<br>農試 | 根釧<br>農試 | 天北<br>農試 | 北見<br>農試 | 滝川<br>畜試 | 新得<br>畜試 |          |          |         |            |
| DBN 粒      | フ キ              |             |            |           | (47)     | (47)     |          |          |          |          |          |          |         |            |
| MON-39 乳   | 草地更新<br>(ギンギンなど) | (47)        | (47)       |           |          |          |          |          |          |          |          |          |         |            |
| S-04 水和    | 広葉多年生<br>(ギンギン)  |             | (47)       |           | (47)     |          |          | (47)     |          |          |          |          |         |            |
| M&B-9057 液 | フ キ              |             |            |           |          | (47)(48) | (47)(48) |          |          |          |          |          |         |            |
|            | ギンギン             |             |            |           |          |          |          |          | (47)     | (47)     | (47)     |          |         | (47)       |
|            | ワ ラ ビ            |             |            |           | (48)     |          |          |          | (48)     |          |          |          |         | (47)       |
| ヒロバトル水溶    | (ギンギン<br>ワ ラ ビ)  | (48)        | (48)       | (48)      |          |          |          |          | (48)     |          |          | (48)     |         |            |

備 考： ○内実施年度

＜第2表＞ 昭和47，48年度牧野草地関係除草剤試験成績判定結果

| 薬 剤 名               | 有効成分・含有率                                                | 判定<br>結果    | 理 由，内 容，そ の 他                                                                                                                                                                                        |
|---------------------|---------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| DBN<br>(ジクロベニル)     | 2,6-ジクロルベンゾニ<br>リル 6.7%                                 | 継           | 試験年次例数不足                                                                                                                                                                                             |
| MON-39<br>(グリフォセート) | N-(ホスホノメチル)グ<br>リシンイソプロピルアミ<br>ン塩 41.5%                 | 継           | 試験年次例数不足                                                                                                                                                                                             |
| S-04<br>(ペンタゾン)     | 8-イソプロピル-2,1,3<br>-ベンゾチアジアジノン<br>-(4)-2,2-ジオキシド<br>5.0% | 継?          | 効果不十分                                                                                                                                                                                                |
| M&B-9057<br>(アシュラム) | メチル-4-アミノベンゼ<br>ンスルホニカルカーバメ<br>イトNa塩 3.7%               | 実<br>・<br>継 | ギンギン { スポット：<br>1 回処理 40~60 g/a } 生育期茎葉処理<br>(エゾノギンギン)(実) { 全 面：<br>春秋処理 20~30 g/a } (牧草に被害発現)<br>ワ ラ ビ(実) { 野草地 40~60 g/a (スポット) } 完全展葉期茎葉処理<br>{ 牧草地 20~30 g/a (全 面) } (牧草に被害発現)<br>フ キ(継) 試験結果不一致 |
| ヒロバトル               |                                                         | 継           | 試験年数不足                                                                                                                                                                                               |

フキに対する防除効果について、北海道立根

# 1. DBN粒剤

釧および中央農試で散布試験を行なったが、そ

の結果では、牧草に対しては薬害はさけられないので、スポット処理をすることとし、株当たり0.6gでかなりの効果がみとめられた。しかし、試験例数が少ないので実用化の可否はきめられなかった。

## 2. MON-39乳剤

北海道農試の試験によると、20g/a以上散布すると、遅効性ではあるが、ギンギンなど牧野草地の多くの雑草に対してかなり高い殺草力があり、牧草の発芽にも障害はないが、ササ優占地では効果はなかった。草地試の成績はこれよりやや劣り、しかも牧草にも影響をおよぼすようであった。以上のように、これだけの例からは結論はくだせず、さらに試験を継続する必要がある。

## 3. S-04水和剤

フキその他広葉雑草についての効果を、北海道立中央および北見農試で試験したが、ともに十分な効果はみとめられず、ギンギンに対する北海道農試の試験結果でも効果はきわめて低く、これらの成績からみる限りにおいては、効果不十分といわざるをえない。

## 4. M&B-9057(アシュラム)液剤

フキに対して北海道立根釧農試で行なった試験の結果は、1回に40~60cc/aの散布が必要であり、草地更新用に100cc/a以上をまいても完全駆除はできなかった。さらに6~7月に100~200cc/aを散布した結果は95%の殺草力があつた。しかし、薬害の発現がみられた。天北農試でも、この程度使用するとほぼ満足すべき効果がみられた。実用化現地試験では、翌春以降の結果があきらかでないが、地

上部はよく枯れてかなり期待がもてそうであつた。

以上のように、かなり高い効果があり、スポット処理によつては、さらに有効に利用できそうではあるが、必ずしも全般的に充分満足すべき結果とはいえない点もあるので、さらに継続試験をする必要がある。

ギンギンに対しては、北海道立新得および滝川畜試で春秋2回、40+40ml/a処理を行なった結果は充分とはいえないが、一応の効果をみとめている。なお現地試験では、1回でもかなりよい結果もあつたが、2回必要としているところが多い。また秋処理は、滝川、新得両畜試および中央農試で試験した結果は、地域により差はあるが、8~10月に40~60ml/aで一応の効果をみとめている。青森畜試では60ml/aで高い効果を示し、スポット処理ではさらに効果的であつた。また鹿児島畜試でも4~5月散布で同様に高い効果があつた。

以上の結果からみると、全般的にはかなりよい結果であるが、寒地ではやや変動が大きい。しかし、管理作業との適當の組み合わせを考慮し、春秋2回の散布、あるいは牧草の薬害を少なくするためのスポット処理などによつては充分に実用化の可能性がみとめられる。

ワラビに対しては、中央農試および滝川畜試の試験結果によれば、100ml/aの散布でよいが、時期は前者では8月、後者では9月が効果的であつた。鹿児島畜試での試験でも5月に100ml/aの散布でかなりの効果をみとめている。

これらの結果および従来の成績からみても、効果が高い例が多く、充分に実用化の可能性があるものといえよう。

## 5. ヒロバトール水溶剤

ギンギンに対して、草地試、北海道農試、東北農試、北海道立滝川畜試、宮崎農試酪支の5場所で試験した結果は東北農試を除く4場所とも、25～50g/a散布でかなり高い効果を示した。ただ、暖地の宮崎酪支では牧草に対する被害が大きく、全面散布は不可というので、さらに低薬量の散布を検討する必要がある。なお、東北農試は散布前の雑草の管理作業が適当でなかった結果と考えられる。

ワラビに対しては、草地試、北海道農試および宮崎酪支で試験したが、いずれも枯殺効果はみとめられなかった。

したがって、ワラビに対する効果は期待できないが、ギンギンに対しては充分効果が期待できるので、有効成分の公開によって実用化の可能性は大きいものと考えられる。ただ、試験年次が少ないので、さらに継続、例数を増加する必要がある。

# 昭和48年度秋冬作芝生関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和48年度秋冬作芝生関係除草剤の試験成績検討会は昭和49年7月19日、伊豆の修善寺において、試験担当者、専門調査員、委託者（メーカー担当者）多数参集のもとに開催された。

今回は、前年度対比薬剤数にして2倍強、点数にして2.5倍強の委託薬剤数となった。すべて除草剤で、15薬剤73点に及び、全国18カ所で行なわれた試験の結果が報告、検討、審査されたが、結果は表の通りである。

前年度から継続されたものはB-3356、レナシル、SSH-36の3薬剤のみであった

が、野菜等畑地ですでに実用化され、除草効果などについて定評のある薬剤とか、従来から芝地内で使用されたり、実用化されている薬剤の混剤となっている薬剤が多く、実際の判定は実用化〔実〕：1、実用化および継続〔実継〕：9の多きを数えた。実の判定を受けた薬剤は、NTN-80、実継とされたのは2,4-D・G-315、B-3356、レナシル、S-28、CATの1%、2%粒剤、同フロアブル、SK-41、TS-1であったが、各薬剤に対する試験成績の概要は以下の通りである。

昭和48年度秋冬作芝生関係除草剤試験成績審査判定結果一覧表

| No | 薬 剤 名<br>〔 種 類 名 〕<br>〔 商 品 名 〕 | 剤型 | 有効成分および含有率                                 | 委託者（会社名） | 判 定 | 判定理由または内容その他                                                   |
|----|---------------------------------|----|--------------------------------------------|----------|-----|----------------------------------------------------------------|
| 1. | 2,4-D・<br>G-315                 | 水和 | 2,4-D：2,4-ジクロロフ<br>エノキシン酢酸ナトリウム<br>水化物 50% | 日産化学工業   | 実・継 | 実：〔コウライシバ、ヒメコ<br>ウライシバ、ノシバ〕スズ<br>メノカタビラ他雑草発生前<br>100g/a 全面土壌処理 |